



## アンダルシア州政府より感謝状授与

2013年8月、当財団の活動に対し、アンダルシア州政府より感謝状が授与されました。

去る2013年8月、当財団が「日本におけるフラメンコ芸術の振興と普及に貢献した」との理由により、アンダルシア州政府文化及びスポーツ省より、感謝状を授与されました。

現地にて8月2日付で発行されたこの感謝状は、後日、州政府のアンダルシアフラメンコ協会長であるマリア・アンヘレス・カラスコ氏によって、当財団に届けられ、神戸誠財団理事長に直接手渡されました。

神戸理事長も、「今回、このような表彰を受ける事が出来、大変光栄に思っております。これからも芸術を通じて日本とスペインとの架け橋となれるよう貢献できれば幸いです」と、喜びの言葉を語っていました。

2001年の財団設立から12年。当財団の地道な活動が本場スペインの州政府に認められたことを大変喜ばしく思うと共に、これからも引き続きスペイン舞踊の普及・発



マリア氏(右)より手渡された感謝状を手にポーズをとる神戸理事長

展に寄与できるよう、努力していきたいと思っております。皆様、今後ともどうぞよろしくお願いたします。

## ●●● 第7回 CAF フラメンコ・コンクール結果報告 ●●●

去る2013年2月に開催された、第7回CAFフラメンコ・コンクールの結果について、ご報告させていただきます。

東京・北千住の THEATRE1010 (シアターセンジュ) で開催された今回のコンクール。2月23日(土)の本選には、



コンクール入賞者の面々。左から、正木清香さん、梶山彩沙さん、村井宝さん

予選を勝ち抜いた16名の方々が出場しました。

今回、優勝の栄冠を勝ち取ったのは、前回、準優勝の梶山彩沙さん。スペイン研修後に再挑戦した今大会で、見事、頂点を射止め、感激もひとしおのようでした。

また準優勝に輝いた村井宝さんも、前回の奨励賞からステップアップしての入賞となり、前回惜しくも第4位だった正木清香さんが第3位に入るなど、若手舞踊家達の着実な成長ぶりを感じさせてくれる大会となったと思います。

なお今回のコンクールでは、マドリッド州立マリア・デ・アビラ舞踊学院で奨学生として学べる「コンセルバトリオ賞」が急遽設けられ、選考の結果、正木清香さん、徳田志帆さん、土方憲人さんの3名が選出されました。

各受賞者の皆さんが、スペインで研鑽を積み、更なる飛躍を遂げてくれることを、心より期待しています。

## ワークショップ・アカデミー 報告

去る2013年8月、東京のCasa del Arte及び名古屋のMARUWAスタジオにて、夏のワークショップ・アカデミーを開催いたしました。

今回は、現代フラメンコ界を代表するマエストロの一人であるアントニオ・カナレス氏を講師として招聘。夏休みということもあり、中学生からプロの方まで幅広い層の方にご参加いただきましたが、それぞれの良さを引き出そうとするカナレス氏の熱く厳しい指導に、皆さん、真剣な面持ちでレッスンに取り組んでいらっしゃいました。

東京では、舞踊に加え、入江洋佑氏による「演技指導」のレッスンも行われ、舞台上での歩き方や力の抜き方等、舞台に立つ人間として、すぐに応用できる技術を指導していただきました。

今後も舞踊家の方々にとって真に役立つ、当財団ならではの講座を開講していきたいと思っておりますので、どうぞご期待ください。



レッスン終了後、アントニオ・カナレス氏を囲んで記念撮影  
(東京のMARUWAスタジオにて)

## 平成24年度 助成作品 報告

平成24年度の助成作品を上演された、石塚隆充さん、谷淑江さんより、公演のご感想をいただきました。



(撮影者：スタッフ・テス株式会社)

### 「美と幻想のスペイン」

谷 淑江

20年間ご指導・ご支援頂きました皆様に感謝の気持ちを表したいと思い、企画した初のリサイタルでしたが、公演を終え、その感謝の気持ちはより一層大きく膨らみました。

2年に渡り、少しずつ作った思い入れ深い作品に心から共有してくれたアーティストの皆さん、惜しめない力を貸して下さった先生、スタッフの皆さん、本当にありがとうございました。特にラストの演目では、公園ベンチ、舞い降りる枯葉…映画仕立てにするという私のイメージを上回る美しい幻想の世界を作って頂き幸せでした。

資金面で後援を頂いた MARUWA 財団の助成なしではこの公演は成し遂げられませんでした。公演を企画する際の責任や労力等を勉強する貴重な機会を頂いたことにも感謝致します。この初公演の成果に対し、平成24年度（第67回）文化庁芸術祭新人賞を頂いたのも皆様の支えあってこそです。

感謝！感謝！！感謝！！まだ足りないです。最後に、カーテンコールで私を包んでくれたあの暖かい特別な空気…あの感動を忘れず、これからも日々精進します。本当にありがとうございました。Gracias de todo corazón.

### 石塚隆充カンテ・コンサート 2013

### 「Taka de Tokyo al cante ~ヘレスの仲間と~」

石塚 隆充

平成25年3月に上記の公演を東京と大阪の2会場で開催しました。舞踊に比べ数少ないカンテ公演にご理解を賜り、助成頂きましてありがとうございます。また熱い応援で見守って下さったお客様にも心から感謝です。

ヘレスより招聘した3人の精鋭達。陽気で素朴な彼らですが、いざ舞台に立つと、一瞬にして会場全体をヘレスの風で包み込み、僕らを不思議なドゥエンデ世界へ連れていってくれました。僕のやりたい企画を十二分に理解し、舞台を引き立ててくれた3人は心強い存在でした。日西交流400周年という記念すべき年にこのようなライブを実現でき、感無量です。

御財団をはじめ、舞台制作に携わってくださった沢山の方々のご協力無しではこの舞台を開催することはできなかったと思います。改めて感謝の気持ちをお伝えすると共に、これからもできるだけ多くの方に聴いて頂けるよう、気持ちを新たにして活動していきたいと思っています。



(撮影者：高瀬 友孝)

## 平成25年度 助成作品 報告

平成25年度の助成作品は、審査の結果、田村陽子さんの「Encuentro ～出会い～」(公演日：10月25日、助成金額：100万円)、AMI フラメンコスタジオさんの「AMI フラメンコリサイタル『MI SENTIR ～生きて～』」(公演日：11月3日、助成金額：80万)、萩原淳子さんの「在西10年記念フラメンコ公演『ハモンは皿にのせるだけでよい』」(公演日：4月6日、7日、助成金額：50万円)、石塚隆充さんの「石塚隆充カンテ・ライブ カンテ・ワークショップ 全国ツアー」(公演日：2014年1月予定、助成金額：20万円)の4作品に決定しました。

既に該当作品の公演を終えられた、萩原淳子さんと田村陽子さんより、公演のご感想が届きましたので、以下に掲載させていただきます。なお、AMI フラメンコスタジオさんと石塚隆充さんの作品につきましては、次号に掲載させていただきます。

また、平成26年度の助成作品の募集につきましては、最終面に詳細を記載しておりますので、次回の助成をご希望の方は、そちらをご覧ください。

### 萩原淳子在日10年記念フラメンコ公演「ハモンは皿にのせるだけでよい」

萩原 淳子

公演前にたくさんの方から「公演タイトルの意味は？」と質問されました。公演終了後、たくさんのお客様から「タイトル通りの公演だった」とご感想を頂きました。以下に、この場をお借りして公演当日のプログラムに記載したメッセージを転載させていただきます。

“ハモンは皿にのせるだけでよい／花もソースも飾りもない／ハモンは皿にのせるだけでよい／でもその切り方を知らねばそれが本物でなければ／そして大切なことはそれを誰かと共有すること／フラメンコもきっと同じ／2013年4月 萩原淳子”

「フラメンコ」とは何か。それを追い求めて渡西し、10年が経ち、今もいる。その私ができることは「フラメンコ」しかありません。それを舞台作品にしたい。フラメンコ風ダンス公演ではなく、「フラメンコ」の舞台。そのためにはどうしたらよいか。

考えに考え抜いた末、あえて歌1、ギター1、踊り1のたった3人で舞台を創ることにしました。これ以上シンプルなフラメンコ舞踊公演はないというところまで削ぎ落とす。なおかつ劇場公演として構成・演出プランを練る。それはある意味、自分の可能性への挑戦でもありました。

そんな私の同志になってくれたミゲル・ベレスとモイ・デ・モロンに、たくさんの方々と共に共有することができた「フラメンコ」の瞬間に、そして本公演を助成作品としてお選び下さった MARUWA 財団さんに心よりお礼申し上げます。誠にありがとうございました。

「ハモンは皿にのせるだけでよい」。それは在西10年、私の人生の中から紡ぎだされた私にとっての真実でした。これからも踊り手として、人として学び続けたいと思います。



(撮影者：松本 青樹)

### Encuentro ～出会い～

田村 陽子



(撮影者：伊藤 晃)

この度は、私の公演「Encuentro ～出会い～」に助成いただきましてありがとうございました。お陰様で、日本在住のアーティストの方々に加え、スペインから、ヘスス・オルテガ、マルコ・バルガス、ダビ・パロマル、ラモン・アマドールといった、素晴らしいアーティスト達を招聘することができました。

今回の公演では、創造意欲溢れる仲間達と惜しみなくアイデアを出し合い、一つ一つのシーンを細部に渡り丁寧に創り上げることができ、リハーサルから本番に至るまで、終始チームワーク良く、楽しんで作品を創ることができました。

また、当日はたくさんのお客様にご来場いただきまして、濃密な時間を共に分かち合うことができました。

公演開催に際し、支えてくださった皆様に、この場をお借りして御礼申し上げます。

# 平成26年度 助成事業 募集案内

平成26年度助成事業の募集がいよいよ始まります。皆さん、奮ってご応募ください。

## ■応募方法

応募用紙に上記活動の企画、予算、過去の芸術活動状況等を要約して記入の上、台本、或いはプログラム構成、過去の公演ビデオ又はDVD（10分間）と共に郵送のこと。応募用紙は当財団にご請求ください。また財団ホームページからも入手できます。

## ■応募期間

平成26年1月10日～2月10日必着

## ■助成対象

芸術活動を続けている個人、或いは団体が主催するスペイン舞踊、音楽に関する芸術の普及、向上につながるような国内公演、イベントの企画で、他機関からの助成を受けていないもの。尚、過去に100万円以上の助成を受けたことがある応募者の助成回数は3回迄とする。

## ■助成金

平成26年4月1日～平成27年3月31日迄に完了予定のスペイン舞踊、音楽に関する公演、イベントの企画に対して総額300万円を助成します。

## ■選考結果

意欲的で、優れた公演、イベントの企画に対して、財団の選考委員による厳正なる審査結果を平成26年3月31日迄に、本人宛通知致します。尚、助成金支給は公演終了後一ヶ月以内の報告書、写真、印刷物等の提出により実施されます。

## ■問合せ先

公益財団法人スペイン舞踊振興 MARUWA 財団  
〒105-0014 東京都港区芝3-16-13  
MARUWAビル2階  
Tel. 03-5419-6513 / Fax. 03-5419-6514  
URL <http://www.mwf.or.jp/>  
E-mail [info@mwf.or.jp](mailto:info@mwf.or.jp)

## スペイン研修報告

第6回 CAF フラメンコ・コンクールで優勝し、スペインでの研修を果たした田村陽子さんより、研修レポートが届きました。

田村 陽子



この度のスペイン研修では、ちょうど到着したのがビエナルの時期だったため、良い作品、踊りがたくさん見られました。今年はフラメンコだけでなく「エスクエラ・ボレーラ」「ダンサ・エスティリサーダ」を扱ったものもいくつかあり、大変興味深かったです。

今やレッスンは日本でもたくさん受けられますが、スペインまで足を運び、質の高い作品を、あのスペインの空気で、現地の人達と共に見る価値は十分にあると思います。

今回はカルメン・レデスマ、オルーコのクラス、イニエスタ・コルテス、イサベル・バジヨンの個人レッスンを受けました。オルーコのテクニカでサパテアドを強化し、カルメンには振りだけでなく、アーティストとしての感情表現、生きる事の喜び、悲しみ……様々な事を教えられました。個人レッスンでは、振りをもらい、あとはひたすら復習と研究の毎日でした。

日本にいと何かと忙しく「時間が足りない」と思う事がありますが、あちらでは時間の流れが非常にゆったりしていて、フラメンコの事、自分の事、家族や将来の事、過去の思い出……様々なことをじっくり考えることができました。踊りだけをひたすらレッスンするのではなく、見て、感じて、考えて…たくさんのお会いのあった3ヵ月の研修でした。

このような素晴らしい時間を過ごす支援をして下さった MARUWA 財団に心から感謝いたします。これからもこの研修を活かし、舞踊、創作活動に精進してまいります!!ありがとうございました。

## 事務局便り

財団活動を皆さんに発信するニュースレターは、今年度より年に1回の発行となり、盛り沢山の内容となっております。

2月に開催した第7回CAFフラメンコ・コンクールにてコンセルバトリオ賞を受賞した3名も、既にスペインに向かいました。帰国

後それぞれの踊りにどんな味が変わってくるのか楽しみです、ご期待ください。

更に、助成は49作品に対し実施され、沢山の感謝の言葉を頂きながら13年が経ちました。引き続き助成事業を続けていきたいと思っておりますので、平成26年度助成作品へ

のご応募お待ちしております。

8月に当財団の活動に対しアンダルシア州政府より感謝状を授与されました事はとても喜ばしく、身の引き締まる思いと共にこれからの活動の更なる励みとなりました。

(宮下)